

東京新聞が「反省」

副主幹司会 MXの番組で見解

沖縄の基地反対運動を伝えた際に人種差別的な発言があつたなど批判の声が上がっている東京メトロポリタンテレビジョン（MXテレビ）の番組に、東京新聞（中日新聞東京本社）論説（中日新聞東京本社）論説がついていたことについて、副主幹の長谷川幸洋氏が出ており到底同意できるものには「深く反省」とする記事

を掲載した。中日新聞も同日付社会面で同内容の記事を載せた。

記事は深田実論説主幹名で、番組の内容について「本紙のこれまでの報道姿勢および社説の主張と異なることはまず明言しておかなくてはなりません」「事実に基づかない論評が含まれており到底同意できるものではありません」と説明。「他メディアで起きたことではあっても責任と反省を深く感じています。とりわけ副主幹が出演してい

るのもありません」と説明。「読者の方々には心配をおかけすることではあります。おわびします」として

問題になつてているのは、1月2日放送の「ニュース女子」。反対運動を「テロリストみたい」などと表現し、長谷川氏は司会を務めていた。東京新聞はこれまで、番組の問題点を何度も報じてきたが、長谷川氏については触れていないかった。番組内で「反対派の黒幕」などと名指しされた人

さんは先月27日、放送倫理・番組向上機構（BPO）放送人権委員会に人権侵害の申し立てをしている。

MXテレビが放送した番組「ニュース女子」について、東京新聞としての見解を伝える2月2日付の同紙朝刊